

台風や大雨に備えましょう

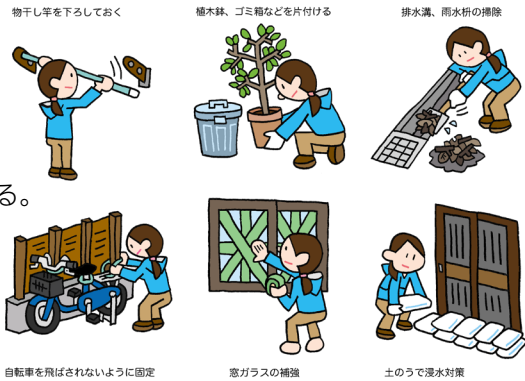
台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

また、いざという時には、周囲の人にも声をかけ、躊躇せずに避難しましょう。

1 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけをよくしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。



2 家の中の備え

- 非常用品の確認
 - ・懐中電灯・携帯用ラジオ（乾電池）・救急薬品・衣類・非常用食品
 - ・携帯ボンベ式コンロ・貴重品など
- 室内からの安全対策
 - 飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
- 水の確保
 - 断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

3 避難場所の確認など

- 土砂災害や洪水災害の危険性が認められる場所を、ハザードマップで確認しておく。
- 学校や集会所など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。

つむぐ通信

シリーズ連載 その111

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

国際交流支援員	大方 芳恵
観光事業総合プランナー	山田 京子
オーブブランドクリエイター	鉄増 千夏
里海コーディネーター	向井 綾香

今月は
山田 京子 さん



facebookで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊



『みんなで乾杯！ビール祭り』

去る7月21日（海の日）にえたじまーれ初のイベント『みんなで乾杯！ビール祭り』が開催されました。

この日は市内を走る路線バスが無料乗車できる日であったため、是非バスでご利用・ご来場いただけたら帰りの心配をせずに心置きなくお酒を楽しんでいただけるのではないかとという発想から生まれた企画でした。これはお酒の好きな自分自身が、江田島市内で酒や食事を楽しみたいと思っても帰りの手段を確保しないとなかなか実現できないというえたじま生活の中で感じていた小さな不満だったのですがそれを解消するべく思いついたのがこの企画でした。

考えてみると不純な動機な気もしますね。大変申し訳ございません。

イベント出店協力者を探し、おかげさまでキッチンカー含め17店の出店協力をいただきました。施設の電力が思いのほか弱く、発電機などを手配しなければならなかったのですが、初めてのイベントであったことや私がそのあたりの知識が全くなかったせいで、発電機の手配をして下さった企業の方々には大変ご迷惑をおかけしましたが、根気よくご対応いただき当日は何も問題無く、全て無事に終えることができました。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

ご来場いただいた皆さんの様子を見ると、普段なかなか飲めない江田



▲江田島ワークス

島市のクラフトビール『江田島ワークス』の生ビールや全国各地のクラフトビールを楽しんでいただいたり、国産色豊かな出店メニューや江田島市の食材をふんだんに使った食事をお楽しみいただけている様子がうかがえました。また、当日はえたじまーれで販売している江田島市の日本酒の試飲会も実施し、普段あまり口にする機会のない方にも日本酒をお試しいただき、改めて江田島市のお酒の美味しさに気づいていただけた良いきっかけにもなりました。

会場ではミニコンサートも開催され、音楽に合わせて手拍子や踊りなどご来場の皆さんが思い思いにイベントを楽しんで下さっている様子が見られ、これから皆さんに愛される場所づくりとして色んなイベントができればと思っています。皆さん、是非楽しみにお待ちしております！



子どもとの交流の場づくり
そして話が変わりますが、現在の取り組みとしてえたじまーれにて『SSR展』という小さな作品展示コーナーを設置しています。SSR（スペシャルサポートルーム）とは、学校に登校できるものの教室に入るのが難しい児童生徒のために、学校内に設けられた特別な場所の略称です。毎日そこで足を運んでくる子どもたちが自主的に勉強をしながら空いている時間を活用してせっせと作成した作品です。是非えたじまーれに来られる皆さんにご覧いただき、子どもたちと地域の方々あるいは観光で来られた方々の間接的ながら交流のきっかけになればと思っています。大変繊細で緻密な作品です。是非お手にとってご覧いただければと思います。

これから何らかのかたちで島に住む子どもたちが少しでも輝ける場所を提供できるよう、微力ながら活動の中で応援していきたいと考えています。



江田島警察署通信 第 109 号 江田島警察署 ☎ 0823-42-0110



～少年補導協助員の活動～

夏も終わりが近づいてきましたが、夏と言えば少年補導が多くなる季節です。夏休みになって、気の緩んだ子どもたちが、深夜徘徊や喫煙、飲酒、暴走行為などしてしまいます。

去年は、午後11時以降に親の許可を得ずに外出する「深夜徘徊」、喫煙、飲酒などで、江田島市内で15人の少年が、補導されています。

皆さんは、このような少年補導活動を支援する民間ボランティアが存在するのをご存じでしょうか。

その団体は、少年補導協助員連絡協議会連合会といい、江田島市にも「江田島警察署管内少年補導協助員連絡協議会」が存在し、広島県公安委員会から委嘱された17人の少年補導協助員の方が活動をされています。活動目的は、非行少年や不良行為をする少年を早

期に発見し、健全育成につなげるというもので、学校での朝の見守り活動、オータムフェスタなどのイベントでの警察との共同補導パトロール、学校担当制度に基づく巡回活動、非行少年の立ち直りイベントの補助など、さまざまな活動をしていただいています。

江田島市の少年補導協助員連絡協議会は、これらの活動が認められ、令和6年度の活動優秀団体として、表彰を受けています。活動をされている方々は、保護司の方や普通の仕事をしている方、もともとPTAの活動をされていた方など様々な方がいらっしゃいますが、仕事の合間を縫って、活動をしてくださっています。

江田島市の子供たちを守っている方々は、実は他にも多くいます。このような活動をされている方を今後も紹介していきます。